

事業計画書

事業名	興国寺城で遊ぼう・語ろう
実施場所	興国寺城址を中心にして
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2025 年 9 月 16 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

◎事業概要

※事業の概要を 100～200 字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

広く興国寺城・北条早雲の家訓を知らしめ、浮島地域の自然・歴史・文化・農産物の特性を発信する。また、地域の子どもは地域が育てるという気概を醸成する。これらのことを実現するに当たり、以下のことに取り組む。

- (1)「遊ぶ」の取組：地域住民等を対象とした流しそうめんのイベントを開催
- (2)「語る」の取組：興国寺城と浮島地区の講演会の開催（2 講演）

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

いつも「北向きや富士山」の浮島に住んでいると、その幸福を忘れていた。同時に浮島の歴史・文化・自然の恵みも忘れていた。この霊峰富士の麓にある浮島地区で生活を営むことへの多幸感及び郷土愛の再認識並びにそれを次世代に生きる人たちに引き継ぐとともに、コロナ禍以降の地域活動の低迷からの脱却の一助とする。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12 月 31 日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。
9 月 19 日	(1)「遊ぶ」の取組：流しそうめんのイベント 企画会議
20 日	官公庁への各種申請等（市文化振興課・保健所・消防署）
30 日	イベントの周知（組回覧等）
10 月 24 日	当日使用する物品の買い出し・借用 イベント会場の整備（草刈り・竹林伐採等）
26 日	イベント当日 ・主に児童生徒と保護者 70 名程度の参加を想定 ・こどもを対象とした「マイ箸作り」のワークショップも実施
12 月 12 日	(2)-①「語る」の取組：講演会「興国寺城の歴史的価値」の開催 企画会議
13 日	講師依頼・講演内容の調整 会場（浮島地区センター）側との事前打ち合わせ
20 日	講演会の周知（組回覧等）
1 月 16 日	講演会当日
1 月 9 日	(2)-②「語る」の取組：講演会「郷土の歌・今昔（仮題）」の開催 企画会議
10 日	講師依頼・講演内容の調整
10 日	会場（浮島地区センター）側との事前打ち合わせ
30 日	講演会の周知（組回覧等）
2 月 20 日	講演会当日

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

浮島中学校では地域の自然・文化の豊かさをうたった「浮島のうた」があり、生徒の郷土愛を育んでいる。児童生徒が保護者とともに本事業に参加してもらうことで、家庭での郷土愛の醸成に繋がり、地域の活性化に寄与するとともに、沼津市の学校が求める「地域学習」の一助になると考える。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 ・各取組の参加人数 ・各取組の満足度	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 アンケート調査
------	--	---------	---------------------------------

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 早雲が伝えた家訓「早雲寺殿二十一箇条」では日常生活における心得が事細かく記されており、家庭における取組の重要性が伺える。 今回の取組では、社会の最小単位の「家庭」において、浮島地域の価値の再認識と郷土愛の醸成を目的としており、それにより、ボトムアップ的に地域の活性化に繋がるとともに、地域の子どもが次世代の地域の担い手として活躍することが期待できる。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 浮島地域には、平成7年3月に国指定の史跡となった「興国寺城」の他に、源頼朝・義経の兄弟である「阿野全盛」の墓や3万8千年前の「旧石器時代の遺跡」など歴史的価値の高いものが多数眠っている。 そして、製茶業が盛んな地域であるが、業界全体が低迷する中で、てん茶や抹茶紅茶など活路を見出す取組をしており、苦難をものとしめない地域性がある。この事業を通じて、浮島地域の歴史的価値と地域性を結び付け、地域の更なる発展につなげる。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 長年、城址に居を構え生活してきた人々が土地を手放さなくてはならなくなった無念の心情を思うとき、地域に残された財産を最大限に活用する努めが我々区民にはある。興国寺城を中心に地域の宝を掘り起こし、活用することは大変意義があると思う。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 興国寺城に関心のある者が集まり、「隼より始めよ」を合言葉に、会員の会費を原資として、興国寺城、早雲寺殿二十一箇条、地域の宝、人材の発掘を中心に地域に一石を投じれるような取組について議論を重ねてきた。 初年度は、興国寺城内の湧水や竹などの自然資源を最大限に活用した「流しそうめん」を開催する。また、講演については、会場としてコミュニティセンター（浮島地区センター：無料）を活用することで、経費の削減を図る。 この取組が浸透したら、参加者から志しをいただく。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 「隼より始めよ」を合言葉に、地域の人たち、特に若者に地域の財産の再認識と郷土愛が醸成されるよう遊びを工夫し、発展させていく。それを段階的に広く市民に、そして、古城巡りの人たちや浮島地域にある東名高速道路サービスエリア「NEOPASA 駿河湾沼津」を利用する人たちなどの市外の人たちにも浮島地域の魅力を発信したい。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

- ・興国寺城内で流しそうめん（継続）
- ・麦わら帽子で兜を作りそれをかぶって、トンボ採り合戦
- ・タケノコ掘り体験
- ・茶畑でお茶しよう
- ・興国寺城内の植物観察と野草の天麩羅づくり
- ・興国寺城見学会・講演会（年数回）
- ・竹灯籠制作と祭り（地域の祭り高尾山祭典と協働）など行事への参加要請を地域と広報ぬまづで呼びかける。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。